



◇県南ブックコミュニティ交流学習会

7月6日（日）、県南各地で読み聞かせボランティアとして活躍されている45名が参加し、横手市生涯学習館A o n aを会場に県南ブックコミュニティ交流学習会が行われました。同館と併設する横手図書館を施設見学した後、小グループに分かれて、持参した絵本を使いながら選書方法や実際の読み方の基本などを確認しました。先輩からの模範演示や丁寧なアドバイスが初心者の方には心強かったようです。「交流」がねらいであることから、楽しい雰囲気の中で疑問点や悩みを出し合い、貴重な情報交換の場ともなったようです。



◇「歴史探訪教室」訪問

このほど、東成瀬村の生涯学習教室を訪問しました。「歴史探訪教室」は、全33教室の一つです。講師を務めたふるさと館館長による「古文書から学ぶ仙北道」と題したお話では、様々な古文書に記される仙北道の名称にまつわる現存する道標の写真や拓本、古文書が資料として示され、身を乗り出して見聞きする受講者もありました。教室終了後も講師に質問したり、受講者同士で意見を交わしたりするなど、仙北道に思いを馳せる機会となったようです。



アドバイザーコラム②

『原点回帰！今まさに公民館
～活動拠点としての公民館を考える～』

6月28日（土）、黒川地区交流センターで「防災フェスタ」が行われました。主催は、同センター運営協議会「安心・安全お届け隊」です。同センター運営協議会は、他にも「くろかわ楽しみ隊」「オアシス館もっと行き隊」「魅力発信隊」が組織されており、地域の活性化と地域住民の生涯学習を見据えたセンター運営を支える頼もしい存在となっています。今回の防災フェスタの目玉は、地震体験車（県内に1台）と消防車の放水体験ブースです。参加した地域の方の表情は真剣で、たくさんの子どもが消防署員の方に質問する様子も見られました。また、防災グッズのプレゼントや婦人会の皆さんによる炊き出しカレーに大喜びでした。同地区では、昨年の夏に大雨による被害があったことから、フェスタを通して地域住民全体での防災意識が一層高まったようです。地区交流センターが安心安全な地域社会を形成するための中核的な役割を果たすと同時に、地域課題と向き合い、地域性を生かしながら住民ニーズに応えるすばらしい取組でした。

